



い し わ た と み お
石渡 富夫

信濃町事務所

株 株式会社藤栄設備の信濃町事務所です。事務員として働いている石渡富夫さん。前職を60歳で定年退職し、2018年6月に入社しました。新しい分野にチャレンジした石渡さんに、仕事の苦勞、やりがい、そしてプライベートに至るまでお話を伺いました。

——ご入社のきっかけを教えてください。

求人サイトで作業員の募集を見つけたのがきっかけです。前職は自然食品や健康食品を扱うお店の店舗開発を担当していました。定年を迎え、そのまま残るといふ選択もありましたが、せっかくなら何か新しい仕事にチャレンジしたいと思ったのです。前職では1日20キロメートル前後歩いていたこともあり、体力には自信がありました。しかし、社長との面接で「現場は非常に危険で、60歳を過ぎたら覚えるには大変な仕事だ」と話が。そこで事務職の提案をい

——それでは、最後に今後の意気込みをお願いします。

目標は70歳まで働くことです。幸い、藤栄設備には70歳、71歳の方々が働かれていて、続けられるように私も頑張りたいです。できる仕事には積極的に取り組み、社長の助けになれたらと思っています。

定年を迎えてからも、仕事にプライベートにチャレンジ精神を忘れない石渡さん。これからも縁の下の力持ちとして藤栄設備を支えていくことでしょうか。

に入場できるかが決まる」。

そんな思いを持って働けることが、私の喜びです。

書類は前日までに全て用意しますが、時には夕方頃に連絡が入り「明日、現場に入りたい」という依頼を受ける場合も。その時に「無理ですよ」とは絶対にいいたくありません。社員及び作業員の方々が現場で作業して初めて、会社の売り上げにつながるのです。そのため、いつでも対応できるようにしておくのが私の仕事だと思っています。

——プライベートについて伺います。休日はどうのように過ごしていますか。

現在はコロナ禍で、休日は買い物に外出する程度です。本日は、2020年のゴールデンウィークにマザー牧場でバンジージャンプにチャレンジするつもりでしたが、いけませんでした。落ち着いたら、一度はいつかみたいですね。ゆくゆくは、スカイダイビングにも挑戦してみたいと思っています。

——現在の具体的な業務内容と、心がけている点があればお聞かせください。

私の主な仕事の一つは、現場に入るための必要書類の作成です。内容は、社会保険や雇用保険の加入、資格を所持しているかなどの証明になります。技能実習生の場合、ビザの期限にも目を通しておかなければなりませんし、現場によっては、健康診断書を提出しなければならぬケースもあり、そういったデータの管理も全て私の担当です。「書類不足によって入場ができない」などということが決してないように、年度が切り替わるタイミングですぐに資料を作り直すのはもちろん、月々で変更になる書類は常にチェック。正確なデータをいつでも取り出せる状態にしておくことを心がけています。

——どのような点にやりがいを感じていますか。

「自分の取り組み次第で、社員及び作業員の方々が現場にスムーズ

ただき、入社が決まりました。現在、建築現場を10フロアほど上下する日もありますが「こんなに弱かったかな」と思うほど、体がいうことをきかない時もあります。そのため、事務職として働かせてもらっているのは本当にありがたいことだと感じています。

——初めての業界で覚えることも多く、苦勞もあったのではないのでしょうか。

そうですね。前任の方が退職した後に私が入社したため、社長から指導を受けながら少しずつ仕事を覚えていきました。営業事務の経験はありましたが業種が違い、全てが新鮮で、楽しいと思えましたね。

一方で、机に向かいじっと座って仕事するのに慣れておらず、その点では苦勞しました。以前は体を動かす機会が多く、気持ちの切り替えも上手にできました。現在は、忙しくなってきたことが功を奏し、集中して取り組んでいると感じています。

企業情報

設立年：平成6年5月27日
年商：3.6億円
従業員数：27名
(従業員19名、建設就労者2名、実習生6名)

※ 2019年3月時点



変異株の影響で感染拡大や医療提供体制のひっ迫など、緊張感漂うニュースを連日耳にします。今こそ一人ひとりが油断せず、我慢して感染対策をすることが重要です。

改めて徹底！基本の対策

| | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|--------|
| | | | | |
| 毎朝の検温 | 定期的な手指消毒 | 手洗い・うがい | 飲食時以外のマスクの着用 | こまめな換気 |

藤原社長 体験談

打ち合わせをした相手が「コロナに感染した」と連絡をもらった際の出来事をご紹介します。

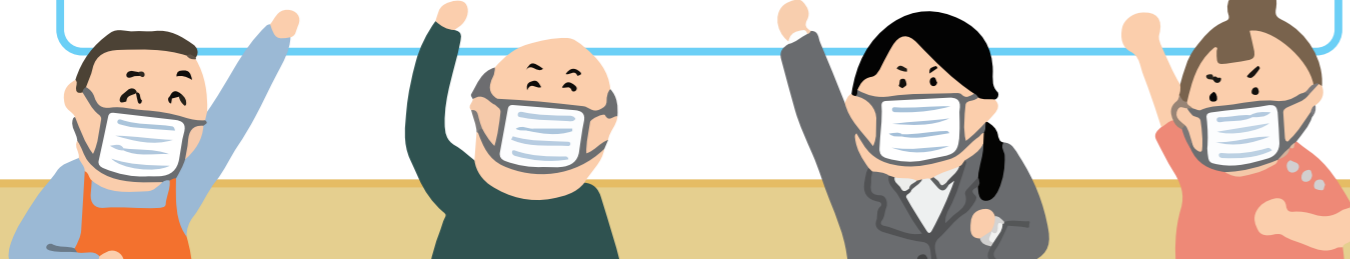
4月のある金曜日に1時間ほどある社長と喫茶店で打ち合わせをし、その2日後の日曜日にその方から「コロナにかかってしまった」と連絡が来ました。私はその連絡をもらってから急いで保健所に電話。打ち合わせ時の喫茶店の環境や座った位置、風向きなど説明をしたところ、なんと私は『濃厚接触者ではない』とのこと。その理由を聞くと、換気が十分にされている環境だと菌が届かないということで対象にならないそうなのです。

濃厚接触者ではありませんでしたが、目の前にコロナの菌があったことは明確な事実。PCR検査を受けたくても、濃厚接触者ではないため受けることすらできませんでした。そこで私のとった対応は、日曜日の連絡がきた時点で家族の協力を得ながら、部屋での隔離状態を約一週間行いました。その中でできる限りの仕事を行い、朝昼晩と定期的に熱を測って体調の変化を観察しました。幸いにも熱や体調に変化はありませんでした。

この体験からの学び

いつ誰がどこでコロナに感染しているのか、わからない状況です。自粛とはいえ、どうしても外出や人と会わなければならないこともあるでしょう。今回私が感染しなかった要因として、換気が十分

に行われているお店だったということが大きいと思います。お店選びや場所は、国や都、県から発表されているガイドラインを守っているお店を選ぶなどして自分たちの身を守っていきましょう。



藤原社長から皆さんへ

誰もがこのまで収束しないことを想定していなかったと思います。本音を言えば、早く全員と顔を合わせて会議をしたい、そして顔を見て面と向かって話をしたいと常々思っています。ですが、いつ誰がどんな状況でコロナに感染してしまうかわからない今、会社と呼んで密な状態にするわけには行きません。そのため必要最低限の人数である課長2名と専務と私の4名で打ち合わせをしています。今回

の緊急事態宣言はオリンピックを考えると延長される可能性も十分にありますが、1年みんなと顔を合わせていないので、今回の緊急事態宣言が明けたら、7月までに一度全員と顔をあわせる機会を作りたいと思います。私達がワクチンを摂取するには相当の時間を要することが想定されます。全員がワクチンを打つまでにコロナ対策を万全にしていくことが私の仕事です。

社員へお願い

各現場どこでも感染リスクはありますが、必要最低限である「マスク・手洗い・消毒」など自分自身を守る、絶対かからないという思いを持っていただきと思います。今年いっぱいこの状況が続く可能性は高いと思います。各個人のコロナに対する現場の取り組みはしっかりとやれることをおこなってほしいと思います。もし各現場にて今以上の対応を求められた時には、まず相談をしてください。



社員のご家族へ

感染リスクの高い東京都内、23区内の現場で仕事をして家に帰ってくるということで、ご家族の皆さんも非常に心配なさっていることと思います。ですが、現場が止まるわけではなく、仕事を継続していくしかないのが現状です。皆さんへお願いしたいことは、まず家族内でのクラスターを発生させないことです。帰宅時の対処方法として、まず体についている汚れブラシなどで落とすこと、玄関

に消毒液を置くことも推奨します。そして手洗いうがいをして、着替える。これはあくまで一例ですが、各ご家庭での対策をとっていただきたいと思います。各現場でのコロナ対策は、状況を確認しながら会社にとっても、現場スタッフにとっても、各ゼネコンお客様も全員でできるだけ感染しない対策を作り上げてリスク低減をしています。ご心配と負担をかけていて申し訳ないと思いますが、これからもよろしくお祈りします。

6月の誕生日社員 **Happy Birthday**

6月の誕生日の方です!おめでとうございます!

6月4日 小川 雄司さん